



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年7月24日

上場会社名 花王株式会社
コード番号 4452
代表者 代表取締役 社長執行役員 尾崎 元規
問合せ先責任者 会計財務部門 管理部長 青木 和義
上場取引所 東証一部
URL <http://www.kao.co.jp/>
TEL 03-3660-7111

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	318,225	12.1	25,623	5.9	25,479	3.9	13,006	1.6
19年3月期第1四半期	283,854	21.7	24,197	△10.0	24,531	△11.3	12,806	△14.9
19年3月期	1,231,808	—	120,858	—	120,176	—	70,527	—

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	23.86	23.83
19年3月期第1四半期	23.50	23.48
19年3月期	129.41	129.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	1,253,440	573,729	44.9	1,032.76
19年3月期第1四半期	1,220,052	519,320	41.8	934.88
19年3月期	1,247,797	574,751	45.2	1,035.66

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	23,931	△12,430	△6,830	92,665
19年3月期第1四半期	18,623	△13,812	△9,085	63,397
19年3月期	164,977	△63,227	△83,665	88,154

2. 配当の状況

当社は、第1四半期末を基準日とした配当を行っておりません。

配当予想に関しましては、中間期末及び期末ともに、平成19年4月23日に発表した平成20年3月期の予想を変更しておりません。

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭
19年3月期	26.00	26.00	52.00
20年3月期	—	—	—
20年3月期(予想)	27.00	27.00	54.00

3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

1株当たり当期純利益を除き、中間期及び通期ともに、平成19年4月23日に発表した平成20年3月期の連結業績予想を変更しておりません。

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益 円 銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
中間期	640,000	6.2	49,000	△16.1	47,000	△19.6	26,000	△12.1	47.69
通 期	1,290,000	4.7	114,000	△5.7	111,000	△7.6	66,000	△6.4	121.06

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有 (5ページをご参照ください)
 新規 0社 除外 1社(社名 花王化粧品販売(株))
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 (5ページをご参照ください)
 (内容) 退職給付引当金
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有 (5ページ及び9ページから
 (内容) 「販売実績」及び「セグメント情報」における「事業区分」の変更 12ページをご参照ください)

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、連結業績予想に関する定性的情報は、4ページをご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成19年4月1日から平成19年6月30日まで）の日本経済は、消費者物価は横ばいに推移しているものの、企業収益の改善と個人消費の持ち直しによって回復しています。当社グループにとって主要な市場である国内のトイレットペーパー市場では、主な製品カテゴリーにおいて販売価格が上昇に転じ始めました。

このような状況の下、当社グループは商品の高付加価値化を進めた結果、各事業は概ね順調に推移しました。また(株)カネボウ化粧品との連結期間が、前年同期の2ヵ月間から3ヵ月間となったこともあり、**売上高**は前年同期より12.1%（為替変動の影響を除くと実質10.2%）増加して3,182億円となりました。利益面では、原材料価格上昇の影響を受けたほか、成長のためのマーケティング費用を増加させましたが、売り上げ増加に伴う利益の増加やコストダウン活動などにより、**営業利益**は前年同期と比べて14億円増加して256億円、**経常利益**は254億円（対前年同期+9億円）、**四半期純利益**は130億円（対前年同期+1億円）となりました。

当第1四半期の在外子会社等の財務諸表項目（収益及び費用）の主な為替換算レートは、119.41円/米ドル、157.26円/ユーロでした。

【セグメント別の概況】

当連結会計年度より当社グループは、少子高齢化、晩婚化や単身世帯の増加など、社会の仕組みの根底に関わる変化、また消費者の商品選択や購買の意識の変化、それに伴う流通の変化といった大きな動きに対応し、消費者起点に立った成長戦略をスピーディーに力強く実践するために、従来の家庭用製品事業と化粧品事業を統合してコンシューマープロダクツ事業とし、新たにビューティケア、ヒューマンヘルスケア、ファブリック&ホームケアの3つの事業区分にして、従来の工業用製品事業であるケミカル事業とともに4つの事業区分に改編しました。（各事業区分の主要製品は、11ページをご参照ください。）

コンシューマープロダクツ事業

売上高は、前年同期に対して11.8%増加し2,642億円となりました。国内では多様な変化に対応した新製品の上市や、家庭用製品と化粧品の販売会社を統合したことによる販売体制の強化などによって、売上高が12.4%増加し、2,099億円となりました。アジアでは日本との一体運営の推進や構造改革の効果が現われ、売上高は20.9%（為替変動の影響を除くと実質13.0%）と大幅に増加し、196億円となりました。また欧米では市場競争の激化による影響を受けましたが、売上高は8.0%（為替変動の影響を除くと実質2.2%）増加し、389億円となりました。

営業利益は、天然油脂を中心とした原材料価格上昇の影響を受けたことに加え、国内外で成長のために積極的なマーケティング費用の投入などを行いましたが、増収効果などにより前年同期を32億円上回る204億円となりました。

【ビューティケア事業】

売上高は、前年同期に対して16.7%増加し1,532億円となりました。

国内では売上高は21.4%増加して1,100億円となりました。プレステージ化粧品では、「インプレス」、「ルナソル」や「エスト」などのカウンセリング専用的高级ブランドや、セルフ販売のメイクアップブランド「ケイト」などが好調に推移して売り上げを伸ばしました。プレミアムスキンケア製品では、洗顔・メイク落としの新製品「ビオレ メイクとろけるリキッド」や、全身洗剤「ビオレu」が好調に推移し、売り上げを大きく伸ばしました。プレミアムヘアケア製品では、新ヘアケアブランド「セグレタ」や、新発想のダメージケアを提案した「エッセンシャル ダメージケア」が消費者の支持を得て好調に推移したことなどによって、売り上げを大幅に伸ばしました。

アジアでは、洗顔料「ビオレ」が台湾、インドネシアなどを中心に好調に推移したことや、(株)カネボウ化粧品が中国で百貨店、高級薬局流通チャネルにおいて積極的に事業拡大を行っていることにより、売上高は大きな伸びを示しました。

また欧米の売上高は、為替の影響を除くとほぼ横ばいに推移しました。「ジャーゲンズ ナチュラル グロー」の高付加価値品や、「キュレル」ラインから新製品を追加したことによって、プレミアムスキンケア製品は売り上げを増やしましたが、プレミアムヘアケア製品の「ジョン・フリーダ」は、欧州では順調な伸びを示したものの、米国市場での競争激化の影響を受けて伸び悩みました。「モルトン・ブラウン」は、販売地域の拡大などにより、売り上げを大きく伸ばしました。

営業利益は、売り上げの伸びによる増加がある一方で、競争の激化や成長のための積極的なマーケティング費用の投入などにより、前年同期を4億円下回る45億円となりました。

【ヒューマンヘルスケア事業】

売上高は、前年同期に対して8.3%増加し462億円となりました。

国内の売上高は前年同期に対して7.4%増加し424億円となりました。フード&ビバレッジ製品では、爽やかな甘さのマスクット味を追加発売した「ヘルシアウォーター」が堅調に推移しましたが、売り上げはほぼ横ばいとなりました。サニタリー製品の生理用品ではオーダーメイド感覚の一体感を実現した「ロリエ スーパーガード」を改良発売しました。またベビー用紙おむつは、より肌へのやさしさを追求した商品改良によって、引き続き消費者の支持を得て売り上げを拡大しました。パーソナルヘルス製品の歯みがき・歯ブラシでは、口内環境浄化を訴求した「薬用ピュオーラ」が引き続き好調に推移し、売り上げを大幅に伸ばしました。

アジアの売上高は、生理用品「ロリエ」がタイや中国で好調に推移し、伸ばしました。

営業利益は、増収効果などにより前年同期を23億円上回る30億円となりました。

【ファブリック&ホームケア事業】

売上高は、前年同期に対して3.8%増加し647億円となりました。

国内の売上高は前年同期に対して1.6%増加し574億円となりました。ファブリックケア製品では、昨年秋に新発売した衣料用スタイリング剤「スタイルケア 服のミスト」などの仕上剤が順調に推移しましたが、衣料用洗剤では販売価格の下げ止まりがみえる一方で、引き続き厳しい市場競争が続いており、売り上げは横ばいとなりました。ホームケア製品では、食器用洗剤の「キュキュット」や、住居用ワイパーの「クイックルワイパー ハンディ」などで売り上げを伸ばしました。

アジアでは、タイで好調に推移している衣料用洗剤「アタック イージー」に加えて「アタック ソフトプラス」を新発売し、また中国でも販売強化策の効果が現われており、売上高を大きく伸長させました。

営業利益は、原材料価格上昇の影響を受けたものの、増収効果などにより前年同期を13億円上回る129億円となりました。

ケミカル事業

ケミカル事業は、グローバルに特徴ある強い事業に引き続き注力した結果、売上高は前年同期に対して13.2%増加し619億円となりました。国内は前年同期に対して3.8%増加し299億円となりました。油脂製品は堅調に推移し、機能材料製品では、コンクリート用高性能減水剤やプラスチック用添加剤が売り上げを伸ばしました。スペシャルティケミカルズ製品では、電子部品用洗浄剤、ハードディスク用研磨剤などが対象業界の在庫調整の影響を受け、売り上げは前年同期を下回りました。アジアでは、売上高は前年同期に対して12.7%増加の154億円（為替変動の影響を除くと実質5.9%増）となりました。油脂アルコールは、需要の拡大に対応したフィリピンでの生産設備の増強により、売り上げを伸ばしました。欧米では、売上高は前年同期に対して21.9%増加の247億円（為替変動の影響を除くと実質13.4%増）となりました。油脂アミンや香料、及びトナー・トナーパウダーが好調に推移しました。

営業利益は、天然油脂などの原料価格高騰の影響を受けており、販売価格の改定やコストダウンなどに努めましたが、前年同期を17億円下回る50億円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、1兆2,534億円となり、前連結会計年度末に比べ56億円増加しました。売上高の増加などに関連して受取手形及び売掛金やたな卸資産が161億円増加しましたが、一方で知的財産権やのれんの償却が進み、無形固定資産は107億円減少しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ66億円増加し、6,797億円となりました。支払手形及び買掛金や短期借入金、未払費用で137億円増加しましたが、その他の流動負債の減少が75億円ありました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ10億円減少し、5,737億円となりました。主な増加は、当第1四半期純利益130億円であり、主な減少は配当によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の45.2%から44.9%となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、239億円となりました。主に、税金等調整前四半期純利益が249億円、減価償却費が223億円、及び仕入債務の増加が41億円であったことと、一方で法人税等の支払いが95億円、たな卸資産の増加が95億円、及び売上債権の増加が60億円であったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、124億円の支出となりました。主なものとしては、有形・無形固定資産の取得による110億円です。

財務活動によるキャッシュ・フローは、68億円の支出となりました。これは主として配当金の支払127億円と、短期借入金の増加56億円によるものです。

以上の結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ45億円増加し、926億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結業績は、概ね順調に推移しました。しかし、天然油脂原料や石化原料などの原材料価格は、期初の時点に比べて大幅に上昇しており、不透明感があります。それらのインパクトを吸収するために、売り上げ拡大やコストの効率化などの企業努力を継続し、当初予想値の達成を目指してまいります。

従いまして、1株当たり当期純利益を除き、中間期及び通期の連結業績予想は、当初の計画（平成19年4月23日発表）を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

除外 1 社：花王化粧品販売㈱

花王販売㈱を存続会社、花王化粧品販売㈱を消滅会社とする吸収合併を行い、同時に花王販売㈱は社名を花王カスタマーマーケティング㈱に変更しております。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無

四半期連結財務諸表等の作成に際しては、中間連結財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下の簡便な手続を採用しております。

退職給付引当金の計上基準：当社及び主要な連結子会社においては、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当第 1 四半期末において発生していると認められる額を計上しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

「販売実績」及び「セグメント情報」における「事業区分」を変更しております。

詳細は、9 ページから 12 ページをご参照ください。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

科 目	前第1四半期末 (平成18年6月30日現在)		当第1四半期末 (平成19年6月30日現在)		前連結会計年度末 (平成19年3月31日現在)		増減 (△印減)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)
(資産の部)							
I 流動資産	359,575	29.5	422,161	33.7	402,219	32.2	19,942
現金及び預金	41,095		50,279		49,910		368
受取手形及び売掛金	140,557		165,054		158,497		6,556
有価証券	22,309		38,390		36,247		2,142
たな卸資産	109,430		121,675		112,114		9,560
その他	46,182		46,762		45,448		1,313
II 固定資産	860,347	70.5	831,218	66.3	845,518	67.8	△14,300
有形固定資産	282,295		286,798		289,016		△2,217
無形固定資産	469,476		431,744		442,469		△10,725
のれん	264,051		252,008		256,326		△4,318
その他	205,425		179,736		186,142		△6,406
投資その他の資産	108,575		112,675		114,032		△1,357
III 繰延資産	129	0.0	60	0.0	58	0.0	1
資産合計	1,220,052	100.0	1,253,440	100.0	1,247,797	100.0	5,642
(負債の部)							
I 流動負債	405,808	33.2	314,814	25.1	308,646	24.7	6,168
支払手形及び買掛金	97,923		114,592		110,158		4,433
短期借入金	139,428		27,908		21,877		6,031
未払費用	83,291		89,063		85,796		3,266
その他	85,165		83,250		90,813		△7,563
II 固定負債	294,923	24.2	364,896	29.1	364,399	29.2	496
社債	—		99,995		99,995		0
長期借入金	249,186		211,689		211,774		△85
退職給付引当金	29,625		31,235		30,987		247
その他	16,112		21,975		21,642		333
負債合計	700,732	57.4	679,711	54.2	673,046	53.9	6,664
(純資産の部)							
I 株主資本	529,902	43.4	572,561	45.7	573,541	46.0	△979
資本金	85,424	7.0	85,424	6.8	85,424	6.9	—
資本剰余金	109,561	9.0	109,574	8.8	109,565	8.8	8
利益剰余金	345,031	28.2	387,419	30.9	388,585	31.1	△1,166
自己株式	△10,115	△0.8	△9,855	△0.8	△10,033	△0.8	177
II 評価・換算差額等	△20,416	△1.6	△9,519	△0.8	△9,010	△0.7	△509
その他有価証券評価差額金	5,140	0.4	4,831	0.4	4,649	0.4	182
為替換算調整勘定	△25,557	△2.0	△14,351	△1.2	△13,659	△1.1	△692
III 新株予約権	—	—	301	0.0	301	0.0	—
IV 少数株主持分	9,834	0.8	10,385	0.9	9,917	0.8	467
純資産合計	519,320	42.6	573,729	45.8	574,751	46.1	△1,021
負債純資産合計	1,220,052	100.0	1,253,440	100.0	1,247,797	100.0	5,642

(注) 増減は当第1四半期末と前連結会計年度末との比較で表示しております。

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

科 目	前第1四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)		当第1四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)		増減 (△印減)	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)		金額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高	283,854	100.0	318,225	100.0	34,370	1,231,808	100.0
II 売上原価	116,167	40.9	131,556	41.3	15,388	503,271	40.9
売上総利益	167,686	59.1	186,669	58.7	18,982	728,536	59.1
III 販売費及び一般管理費	143,489	50.6	161,045	50.6	17,556	607,678	49.3
営業利益	24,197	8.5	25,623	8.1	1,425	120,858	9.8
IV 営業外収益	1,215	0.4	1,643	0.5	428	6,273	0.5
受取利息及び受取配当金	451		862		410	2,297	
その他	763		780		17	3,976	
V 営業外費用	881	0.3	1,787	0.6	906	6,955	0.5
支払利息	654		1,445		790	5,032	
持分法による投資損失	113		70		△42	703	
その他	113		271		157	1,219	
経常利益	24,531	8.6	25,479	8.0	947	120,176	9.8
VI 特別利益	194	0.1	99	0.0	△95	1,851	0.1
VII 特別損失	526	0.2	674	0.2	148	4,900	0.4
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	24,200	8.5	24,904	7.8	704	117,127	9.5
法人税等	10,914	3.8	11,509	3.6	594	45,122	3.7
少数株主利益(減算)	478	0.2	388	0.1	△90	1,476	0.1
四半期(当期) 純利益	12,806	4.5	13,006	4.1	199	70,527	5.7

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第1四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)	当第1四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	24,200	24,904	117,127
減価償却費	20,640	22,347	92,171
受取利息及び受取配当金	△451	△862	△2,297
支払利息	654	1,445	5,032
売上債権の増減額(増加:△)	△10,529	△6,092	△24,308
たな卸資産の増減額(増加:△)	△3,015	△9,504	△3,189
前払年金費用の増減額(増加:△)	△3,977	1,642	△10,163
仕入債務の増減額(減少:△)	1,577	4,101	11,315
退職給付引当金の増減額(減少:△)	122	290	1,219
その他	5,779	△4,346	21,816
小計	35,001	33,926	208,725
利息及び配当金の受取額	619	854	3,100
利息の支払額	△347	△1,271	△4,578
法人税等の支払額	△16,649	△9,578	△42,269
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,623	23,931	164,977
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券・投資有価証券の取得による支出	△6	△6	△1,638
有価証券・投資有価証券の償還及び売却による収入	12	0	11
有形・無形固定資産の取得による支出	△24,832	△11,080	△65,470
有形固定資産の売却による収入	237	232	2,078
短期貸付金の増減額(増加:△)	12,006	△600	11,928
長期貸付による支出	△223	△509	△1,550
その他	△1,006	△465	△8,586
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,812	△12,430	△63,227
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
借入金の増減額(減少:△)	2,962	5,689	△154,319
社債の発行による収入	—	—	99,676
自己株式の取得による支出	△112	△155	△1,085
配当金の支払額	△12,096	△12,766	△29,146
その他	159	402	1,208
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,085	△6,830	△83,665
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	145	△159	2,542
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△4,129	4,511	20,627
VI 現金及び現金同等物の期首残高	67,527	88,154	67,527
VII 現金及び現金同等物の期末残高	63,397	92,665	88,154

(4) 販売実績

事業区分	前第1四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日) (百万円)	当第1四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日) (百万円)	増減率 (%)	前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日) (百万円)
コンシューマープロダクツ事業				
ビューティケア事業	90,701	110,098	21.4	416,085
ヒューマンヘルスケア事業	39,507	42,424	7.4	170,008
ファブリック&ホームケア事業	56,517	57,433	1.6	245,255
日本計	186,726	209,956	12.4	831,348
アジア	16,207	19,600	20.9	72,025
欧米	36,016	38,901	8.0	148,710
内部売上消去等	△2,564	△4,207	—	△14,673
計	236,386	264,251	11.8	1,037,411
ケミカル事業				
日本	28,890	29,991	3.8	116,933
アジア	13,673	15,403	12.7	55,830
欧米	20,308	24,754	21.9	82,935
内部売上消去等	△8,117	△8,164	—	△32,089
計	54,755	61,985	13.2	223,609
合計	291,141	326,236	12.1	1,261,020
消去	△7,286	△8,011	—	△29,212
連結売上高	283,854	318,225	12.1	1,231,808

(5) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第1四半期(自平成18年4月1日至平成18年6月30日)

	コンシューマープロダクツ事業			計 (百万円)	ケミカル 事業 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
	ビューティ ケア事業 (百万円)	ヒューマン ヘルスケア 事業 (百万円)	ファブリック &ホームケア 事業 (百万円)				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	131,312	42,711	62,362	236,386	47,468	—	283,854
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	7,286	(7,286)	—
計	131,312	42,711	62,362	236,386	54,755	(7,286)	283,854
営業費用	126,351	42,004	50,749	219,105	47,864	(7,313)	259,656
営業利益	4,961	706	11,612	17,280	6,890	26	24,197
営業利益率(%)	3.8	1.7	18.6	7.3	12.6	—	8.5

当第1四半期(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

	コンシューマープロダクツ事業			計 (百万円)	ケミカル 事業 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
	ビューティ ケア事業 (百万円)	ヒューマン ヘルスケア 事業 (百万円)	ファブリック &ホームケア 事業 (百万円)				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	153,236	46,252	64,762	264,251	53,974	—	318,225
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	8,011	(8,011)	—
計	153,236	46,252	64,762	264,251	61,985	(8,011)	318,225
営業費用	148,685	43,234	51,837	243,757	56,890	(8,046)	292,601
営業利益	4,550	3,017	12,924	20,493	5,094	35	25,623
営業利益率(%)	3.0	6.5	20.0	7.8	8.2	—	8.1

前連結会計年度(自平成18年4月1日至平成19年3月31日)

	コンシューマープロダクツ事業			計 (百万円)	ケミカル 事業 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
	ビューティ ケア事業 (百万円)	ヒューマン ヘルスケア 事業 (百万円)	ファブリック &ホームケア 事業 (百万円)				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	584,284	183,607	269,519	1,037,411	194,396	—	1,231,808
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	29,212	(29,212)	—
計	584,284	183,607	269,519	1,037,411	223,609	(29,212)	1,231,808
営業費用	554,441	171,795	211,703	937,940	202,429	(29,419)	1,110,949
営業利益	29,842	11,811	57,816	99,470	21,180	207	120,858
営業利益率(%)	5.1	6.4	21.5	9.6	9.5	—	9.8

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質及び販売方法の類似性を考慮し、コンシューマープロダクツ事業（ビューティケア事業、ヒューマンヘルスケア事業、ファブリック&ホームケア事業）、ケミカル事業に区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分		主要製品	
コンシューマー プロダクツ事業	ビューティケア事業	プレステージ化粧品	カウンセリング化粧品、セルフ化粧品
		プレミアムスキンケア製品	化粧石けん、洗顔料、全身洗浄料
		プレミアムヘアケア製品	シャンプー、リンス、ヘアケア製品、ヘアカラー
	ヒューマンヘルスケア事業	フード&ビバレッジ製品	食用油、飲料
		サニタリー製品	生理用品、紙おむつ
		パーソナルヘルス製品	入浴剤、歯みがき・歯ブラシ、男性化粧品
ファブリック&ホームケア事業	ファブリックケア製品	衣料用洗剤、洗濯仕上剤	
	ホームケア製品	台所用洗剤、住居用洗剤、掃除用紙製品、業務用製品	
ケミカル事業	油脂製品	油脂アルコール、油脂アミン、脂肪酸、グリセリン、業務用食用油脂	
	機能材料製品	界面活性剤、プラスチック用添加剤、コンクリート用高性能減水剤	
	スペシャルティケミカルズ製品	トナー・トナーバインダー、インクジェットプリンターインク用色材、香料	

3. 事業区分の変更

従来、事業区分は「家庭用製品事業」「化粧品事業」「工業用製品事業」の3事業区分に分類しておりましたが、当連結会計年度より、「ビューティケア事業」「ヒューマンヘルスケア事業」「ファブリック&ホームケア事業」「ケミカル事業」の4事業区分に変更しております。

4. 従来の事業区分の方法による前第1四半期及び前連結会計年度の事業の種類別セグメント情報は、以下のとおりであります。

前第1四半期（自平成18年4月1日 至平成18年6月30日）

	家庭用 製品事業 (百万円)	化粧品 事業 (百万円)	工業用 製品事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	176,786	59,599	47,468	283,854	—	283,854
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	7,286	7,286	(7,286)	—
計	176,786	59,599	54,755	291,141	(7,286)	283,854
営業費用	159,248	59,863	47,864	266,977	(7,320)	259,656
営業利益	17,537	△263	6,890	24,164	33	24,197
営業利益率 (%)	9.9	△0.4	12.6	8.3	—	8.5

前連結会計年度（自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）

	家庭用 製品事業 (百万円)	化粧品 事業 (百万円)	工業用 製品事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	744,747	292,663	194,396	1,231,808	—	1,231,808
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	29,212	29,212	(29,212)	—
計	744,747	292,663	223,609	1,261,020	(29,212)	1,231,808
営業費用	645,817	292,146	202,429	1,140,393	(29,443)	1,110,949
営業利益	98,930	516	21,180	120,627	231	120,858
営業利益率 (%)	13.3	0.2	9.5	9.6	—	9.8

従来の各事業区分の主要製品

事業区分	売上区分	主要製品
家庭用製品事業	パーソナルケア製品	化粧石けん、洗顔料、全身洗淨料、シャンプー、リンス、ヘアケア製品、ヘアカラー、入浴剤、歯みがき・歯ブラシ、男性化粧品
	ハウスホールド製品	衣料用洗剤、台所用洗剤、住居用洗剤、洗濯仕上剤、掃除用紙製品
	サニタリーほか製品	生理用品、紙おむつ、食用油、飲料
化粧品事業	化粧品	カウンセリング化粧品、セルフ化粧品
工業用製品事業	工業用製品	業務用食用油脂、脂肪酸、油脂アルコール、グリセリン、油脂アミン、界面活性剤、ポリウレタン原料、合成樹脂用可塑剤、トナー・トナーバインダー、香料